

# あいめーる

WINTER

## 生活サービス部特集 愛隣館通信

平成 25 年 12 月 25 日発行  
発行  
社会福祉法人 愛隣園  
障害者支援施設 愛隣館  
発行責任者 三浦貴子  
編集 広報チーム  
キャリアビジョン

〒861-0551  
熊本県山鹿市津留 2022  
TEL 0968-43-2771  
FAX 0968-43-2793  
http://aileans.com  
E-mail  
ailinkan@magma.jp



(写真上・天聴の藏於)

### 目次

絵手紙とパステルアート展 .....	1
ベトナム、そしてアール・ブリュット(生の芸術) .....	2
介護職の若者たち .....	2
ヒューマンライツ委員会 .....	2
クローズアップ愛隣館⑧ .....	3
熊本リレーマラソンに参加して .....	3
デイケア柳川日帰り旅行 .....	3
生活サービス部特集 .....	4・5
新しい仲間 .....	6
山鹿市ふれあいピック第九回大会 .....	6
月見の宴 .....	7
月見の宴入選作品 .....	7
県内の障がい者芸術展 .....	8
みかん狩り .....	8
第十三回全国障害者スポーツ大会 .....	8
編集後記 .....	8

### 絵手紙とパステルアート展

十一月十五日(金)～十七日(日)、山鹿湯の端美術会主催の『絵手紙とパステルアート展』(こののはの温もり)が、天聴の藏で開催されました。

この美術展は、一般の絵手紙作家さん、地域活動支援センターぴあぴあ絵手紙教室、愛隣館パステルアート教室の作品で構成され、障がいを持つ方々の社会参加と共生の実現に向けた啓発活動の一助ともなりました。

パステルアート教室の参加者は、日中活動にて午前後に分かれて見学。作品の鑑賞や、メッセージカード作り、ボディペイント体験を楽しんでいました。



館長

三浦 貴子

冬号  
秋から冬、移動することの多い日々を過ごしてい  
ます。

比較的ストレスは少なく、読む、書く、寝るのい  
ずれかで充実、車内は集中しやすいと思います。権  
利条約が国会で承認されました。

平成 25 年（2013 年）  
愛隣館通信 あいめーる  
二泊四日、今年のベトナム十四年目の空飛び車い  
スツアーは、山鹿の女性陣を中心に熊本日越協会の  
本田会長らと同行しました。ホーチミン市の障害児  
通所施設で車イスを待つ子ども達に四台届けたと  
ころです。今回一台リクエストされたのが、ハンド  
レストの所に操作ハンドルがあるタイプ。愛隣館の  
二十六年間で、ただひとり使っておられた小西さん  
（八年前に故郷の加古川市へ帰り、ご逝去）が残さ  
れた一台をリフォームして、ホーチミン市の少年に  
再生しました。目をキラキラと輝かせ、即座にその  
車イスを操作する少年のあふれるような喜びを目  
のあたりに。「この車イスの所有者は将棋の県チャ  
ンピオンで、私達の秀でたリーダー、導く人でした。  
あなたもどうぞベトナムのリーダーになってね」と  
の思いを伝え、うなずいて受けとめてくれる少年に  
出会いました。

そして、熊本市現代美術館にて（十二月七日～二  
月二十三日）県内初開催の、「アール・ブリュット

（生の芸術）・ジャポネ展」。同展を応援する会を、  
三障害の関係者及び医療・教育・行政等に呼びかけ  
十二月六日に開催することができました。美術の専  
門家の方々に芸術（アート）として評価された約六  
〇〇点、六十三人の作家による、ディスプレイティ  
ー障害の訳とは反対に、アビリティー能力として圧  
倒的なメッセージが届く作品群です。打たれます。  
県内で唯一選ばれた、山鹿の松本寛庸氏に続くアー  
ティストが熊本から続くことを願い、その可能性を  
持つ方々の最も近くにいる障害関係者と、多くの県  
民の皆さまにアール・ブリュット（生の芸術）展を  
見て頂きたい思いから会を立ち上げました。この冬  
は一緒に一枚の絵を見て語り合えると良いですね。

### 介護職の若者たち

十二月二十七日（水）、RKK週刊山崎くん  
で放送された「笑顔、そしてありがとう」密着！介護  
職の若者たち」  
に、愛隣館指定相  
談支援事業所に  
勤務する大丸祐  
子さんが出演し  
ました。

大丸さんは、熊  
本大学教育学  
部・生涯スポー  
ツ福祉課程に学び、  
その時講師を務  
めておられたの  
が三浦貴子施設



長でした。この出会いが切っ掛けとなり、愛隣館に  
勤めるようになりました。

現在、相談支援専門員として、愛隣館指定相談支  
援事業所に勤務していますが、以前は、愛隣館とび  
あハウスで介護職員として働いていました。  
とくに、びあハウスでの経験は今の仕事にも大き  
く活かされているそうです。

### ヒューマンライツ委員会

生活サービス部  
サービス管理責任者  
中村 武光

今回は、ヒューマンライツ委員会で改めて虐待防  
止の取り決めを行い周知しました。推進していく過  
程についてお伝えしたいと思います。

①虐待と疑われるケースが発生した場合、市町村  
への連絡（通報）

を行い、直ちに愛  
隣館ヒューマン  
ライツ委員会全  
体会を招集し方  
針を決めます。②  
全体会（施設長）  
は、市町村と理事  
長へ調査結果を  
報告します。③施  
設長は調査結果  
対応方針を全ス  
タッフに伝えま





す。  
 今後は、通報と適切な対応とシステムに関して、山鹿市担当課をお招きし、勉強会を企画していきたいと考えます。



事務・総務部  
 梅崎 美智子

クロースアップ愛隣館

のどかな田園風景の広がる権現山のふもとに、緑色の屋根の大きな平屋の建物が出現しました。完成前から大きな木がたくさん運び込まれ、手際よく植樹する施設の職員さん。そして、建物の中には、便器が埋め込まれた形の(障害者用)和式トイレがありました。

今から二十六年前、愛隣館との出会いです。  
 事務室には加来先生と中村勝子さんと私の三人。使う用紙はB5サイズが主流。もちろんパソコンはなく給料明細も手書きでした。福祉のことは全く分からず、社会人としても未熟者の私は、周りの方々にすいぶんご迷惑をかけたことと思います。忙しくて楽しい、充実した一年目でした。

平成元年七月から五年頃まで、加来先生が施設だよりを発行され、挿絵は本多さん(当時指導員)でした。その後、平成九年六月から十七年八月まで私が担当することに。あるとき、原稿を松島さんに依頼し、十分な承諾を得ないまま写真を載せてしま

ました。(ホント、あの時はごめんなさい...)十六年後、その松島さんから「いいから早く原稿書いて!」と注意され。けれど松島さんとの距離が近くなったと喜ぶ私。すぐ側には、「一刀両断ですね」と、笑う堀田さん。居心地のいい愛隣館。これからもよろしく願います。

熊本リレーマラソンに参加して

デイケア

森川ともみ

十一月三日(日)うまかなよかなスタジアムで行われた第一回熊本リレーマラソンに「チーム愛隣館」十名で出場しました。この大会は四十二・一九五キロ(一周二キロ)をタスキリレーするもので、制限時間が五時間と決まっています。会場に入り周りの方々全てがトップアスリートにしか見えなくて少し不安になりました。

そして、いよいよスタートラインに立ちました。私達は、次の走者が分かる様に緑のタオルを大きく横に振りスムーズにタスキが渡せる様にしました。自分の番が来て走り始め、何



人抜かれたか分かりませんがとにかく次につなげなければ、と思いがむしやりに走りました。チームのタオルが見えた時、グッとこみ上げるものを感じ力が入りました。結果は、三時間四十一分二十一秒で見事完走する事が出来ました。

この大会を通して愛隣館チームの団結力を強く感じる事が出来たと思います。来年は、上位を狙ってまた出場する予定です。

デイケア柳川日帰り旅行

絶好の行楽日和の十月二十九日(火)。日帰り旅行に利用者・職員合わせて十一名で、北原白秋の故郷で有名な水郷・柳川へ行ってきました。

まず昼食は、安政年間が創業と言つ老舗のお店で名物の鰻料理。鰻のせいろ蒸しや、鰻丼に舌鼓を打ちました。流石は老舗の味。いつもは、あまり鰻が得意ではないと言つ利用者の方も、美味しく食べた話をされました。

昼食の後は、歩いて二、三分の所にある旧柳川藩主立花氏の別邸・御花内を散策し、参加者で記念に写真を撮ったり、隣接された物産館を見学。土産物等を選び帰途に着きました。





# 生活サービス部

## 特集

### 愛隣館サービス基準

愛隣館では、利用者の方お一人おひとりの尊厳と権利を尊重するため、愛隣館独自の八つのサービス基準を定めて、サービスを提供しています。

● 個々のニーズ  
「利用者がしたいこと、利用者の目標のために計画する」

● 自己決定と選択  
「利用者は自分の意見を言い、人の意見を聞く。自分で選択する」

● 個性と可能性の尊重  
「自分の人生をできる限り楽しく生きる」

● 参加と統合  
「地域社会に参加する」

● プライバシー、尊厳、秘密保持  
「プライバシーと秘密は守られる」

● 人権尊重、危機介入  
「危機状況には速やかに介入し、回避する」

● 家族関係・人間関係  
「利用者の家族や友人は最も大切である」

● サービス管理  
「サービスは安全に柔軟に運営される」

サービス管理責任者  
サービス管理責任者は、利用者の方の意向や、心身の状況に応じて、適切に日常生活上の支援を行います。

利用者、従業者、管理者、法人、地域、関係機関との間に立って、質の高いサービスが提供されるように調整しています。

### ケア課

生活支援員の役割は、利用者の方の意向や、心身の状況に応じて、食事、入浴、排泄、衣服の着脱や移動など利用者の生活全般にわたって必要な援助を行い日常生活上の支援を行います。

障がいの特性などを踏まえた個別支援計画を作成し、その計画に基づき、利用者のニーズに合わせたサービスを提供しています。

### 事務・総務部

事務員は、事業所に必要な庶務、経理事務を行います。

入居者の方が愛隣館で生活される際必要な申請書類、届け出書類等から金銭管理（希望者）まで、事務手続きを行っています。



【事務・総務部】



【ケア課】

愛隣館は、主として夜間において、入浴、排せつ、又は、食事の介護、その他の日常生活上の支援を行う「施設入所支援」と、昼間に「生活介護」を行う障害者支援施設です。愛隣館には、施設長を始め、百人以上の職員が働いています。直接介護に携わる職員以外にも、様々な部署で、それぞれ重要な役割を担い、入居者の方々の日常生活に必要な支援を行っています。

### 看護課

看護課では、利用者の方、お一人お一人が安心して生活が送れるように、心身の状況に応じて、健康状態を把握し、身体的、精神的安定に努めています。

医師の指示の下、適切な技術をもって医学的処置を行っています。

その他に、協力医療機関とも、連携を取り、定期健診や通院、緊急時の入院等にも対応しています。

### 食生活課

食生活課では、利用者の方々の心身の状況に合わせて、利用者の栄養及び給食の管理を行い、普通食から、刻み食、お粥等の食事を提供しています。

毎月一回の食生活会議を開催し、栄養士が食べた料理を利用者の方々に聞きとりをしてバランスの良いメニューを提供しています。

特に、入居棟では、季節の行事にちなんだメニューや誕生会メニュー等、食食にはバイキングも取り入れていきます。

### リハビリテーション

#### アクティビティ課

リハビリテーションでは、お一人お一人の心身の状況や生活に応じた利用者の求める訓練を行います。

日中活動では、音楽クラブ、ヨガ教室、バスツアー、パソコン、スポーツ等職員や外部から講師を招いて開催しています。

幾つかの日中活動を開催する事で自らが選択し、幅広く参加することができます。

個人でも希望や要望を取り入れ、利用者の方が参加する「あなたの希望叶えます」も定期的に行っています。

### ハウスキーパー

愛隣館でのハウスキーパーの役割として、利用者の状況に応じて館内や居室の清掃や利用者の洗濯等、支援を行っています。

他にも食事介助等の援助も行っています。



【ハウスキーパー】



【リハビリテーション・アクティビティ課】



【食生活課】



【看護課】

※写真は、都合により、当日勤務の職員です。



★ 新しい仲間



デイケア利用者  
源 慶美子

六月よりデイケアにお世話になってます。

利用者やスタッフの方々が非常に明るくて来るたびに元気をもらって帰る事ができています。

陶芸にも挑戦し、時間はかかりましたがやっと作品第一号を完成させる事ができました。

それから、一年前に買ったタブレットが使いこなせていなくてどうしようか思っていたところ、パソコン教室もあるとの事で教えて頂き少しですが扱える様になりました。

明るくて家族的な雰囲気の中でゆっくりと過ごす事が出来、毎回ホットな気持ちで帰れることはこちらにお世話になって本当に良かったなと思っています。これからもよろしくお願ひします。

デイケア利用者

中村 知恵子

「よろしくお願ひします」

皆さんこんにちは、九月四日より利用しております。担当の相談員に愛隣館を紹介されて、七月に見学に来た際に、利用者の方々、スタッフの皆さんに温かく迎え入れて頂き、植木町から少し遠い

のですが、利用しよう!!と決めました。

デイでは、手芸教室へ参加し講師の先生にもお世話になっております。午後からのカラオケも皆さんとの楽しみの一つです。今は、週に一度の利用を楽しみに待ちどおしく日々過ごしています。皆さんこれからも宜しくお願ひします。

愛隣倶楽部利用者

後藤 千砂都



小学校入学を機に父親の生まれ地熊本県菊池市

に引っ越しをし、熊本生活も十三年になりました。

小・中・高と菊池支援学校で過ごし、今春卒業しました。

ここ何年か、体調があまりよくなり、卒業後しばらく自宅で過ごし、体調が安定してきた七月より愛隣倶

楽部に週二回通っています。六歳下の中学一年と九歳下の小学四年の弟がいます。以前は休みに一緒に公園に行って草そりやローラー滑り台などで遊びましたが最近は二人とも部活で忙しくなりました。顔を合わせない日もあったりします。これから体調を安定させて愛隣倶楽部に通う回数も増やせるようになりたいです。・・・と本人の気持ちにな

って代筆しました。

(代筆：母 美砂子様)

山鹿市ふれあいピック第九回大会

十月五日土曜日に山鹿市総合体育館にて、山鹿市ふれあいピック第九回大会が開催されました。

今年は、愛隣館を始め十六団体と例年よりも多く盛大に行われました。毎年参加されている方、初めて参加される方々が入り混じりながら会場は早くも熱気に包まれていました。今回は参加人数が増えたことにより、競技も二回に分けて行われました。プログラムの締め括りとして参加者全員による

フォークダンス

が行われました。

この時、皆さんが手と手を取り合い会場が一つになりました。

参加者が楽しそうに競技をさしている一方で、大会を支えてくれたボランティア等の協力団体の皆さんのお陰で、今大会が開催されている事を改めて実感しました。

実行委員並びに、関係者の皆様お疲れ様でした。



月見の宴

仲秋の名月の九月十九日(木)、愛隣館食堂に於いて来賓の方々をお迎えし月見の宴が開催されました。



事前に応募のあった俳句と、短歌の披露。

会の中ごろには、第三者委員の猿渡弁護士呼びかけでビッグバンド オールドストリートサウンドのメンバー十三名がジャズを演奏。メンバーの猿渡弁護士はトランペットを吹かれ、会に花をそえました。最後に、俳句と短歌の入選句歌の発表があり、今年は山鹿の有識者の方々が賞を出してくださり、たくさんの方々を選びました。

● 月見の宴入選作品 ●

理事長賞

満点の 星に依えて 花みかん

加来 信二

館長賞

田を渡る 風と遊びて 子ら帰る

福島 和博

名誉理事長賞

倶楽部来て みんなにぎやか

永田 勝利

雨上がり 今宵虫の音 涼しけり

福島 和博

手ざわりで 実るぶどうが 目に浮かぶ

有働 末義

初神輿 想いをのせて 担ぐ手に

燈心会

“ハイイ灯籠”

森川 ともみ

山鹿警察署 署長 北野賞

老いた母 背中を語る 人生を

河村 智美

城北高校 校長 竹原賞

初神輿 想いをのせて 担ぐ手に

燈心会

“ハイイ灯籠”

森川 ともみ

熊日新聞社・岩下賞

目を閉じて 月夜に浮かぶ 女子高生

福島 修

三菱総研・高森賞

「お月さま ついてくるよ」と

子どもたち 車の窓に ほしいをよせて

最上 けい子

満点の 星に依えて 花みかん

加来 信二

(株)地の塩社 社長 田口賞

月よりも かつこいいのは

生まれつき

(株)地の塩社 若杉賞

最期まで 我子を案じてくれた師は

見守ってるよと 微笑みかける

山口 博美

八千代座 石橋賞

八月十六日 愛隣館 館長様

十五夜 お月さま

丸山 光子

メトロカフェ賞

足先で 心を込めて 折る姿

今でも浮かぶ 初介助の日

ふじばかま

熊本地域振興局 柳邊賞

満月を 見上げてみれば 母の顔

瀬口 直子

短歌 月の部

一席 「お月さま ついてくるよ」と

子どもたち 車の窓に ほしいをよせて

最上 けい子

二席 病に伏す 友を励まし 帰り道

そっと背を押す 十三夜の月

山口 博美

三席 銭湯へ 母と歩いた 月夜道

話はずませ 心通わす

坂田 照美

短歌 雑詠の部

一席 足先で 心を込めて 折る姿

今でも浮かぶ 初介助の日

ふじばかま

二席 傍らに いつも寄り添う おかあさん

笑顔で返す 感謝の言葉

山口 さとみ

三席 美しい 線香花火の 火の玉が

落ちれば夏も 終わりと思う

岩下 力

俳句 月の部

一席 半月の 雲より速し 八水忌

加来 信二

二席 満月を 見上げてみれば

母の顔 瀬口 直子

三席 満月に 照らされすむ

散步道 鳴瀬 美佐

俳句 雑詠の部

一席 手ざわりで 実るぶどうが 目に浮かぶ

有働 末義

二席 汗をかき 声を出そうと 痰を切る

吉田 昌樹

三席 歩けるよ 僕の体は 水の中

杉山 伸一



デイケア

松永 清孝

平成二十五年十一月十九日(火)～二十四日(日)、熊本県立美術館分館において、くまもとハートウィーク『県内の障がい者芸術展』が開催されました。愛隣館の入居者、デイケア、愛隣倶楽部、ぴあぴあの利用者より、併せて四十九点の作品展がありました。



見学に行かれたデイケア利用者の視覚障がいの方は、「作品を直接見ることができないが、陶芸作品を触った感覚では皆さん年々上手になっていくね。一生懸命作った私達の作品を観覧して、感動されている一般のお客様に感激しました」とおっしゃっていました。来館者より「心に残った作品」として、多くの支持を受けられた、デイケア利用者の岩下力様の詩

君に逢えて

夢の中で君に逢えた

現実じゃなくても たとえ夢でも 君に逢えた  
それだけで今の僕は幸せです

俳句・詩部門でハートウィーク賞を受賞されました。このようならばらしい作品を作られている利用者の方を、今後も、少しでもお手伝いできたらと思

っています。

みかん狩り

十二月三日(火)

午後のアクティビティで入居者五名職員五名でみかん狩りに行きました。



暖かくて絶好のみかん狩り日和でした。愛隣農園には、全部で三五〇本のみかんの木が植えられ、バリアフリーのコーナーがあります。

ここでは、車イスでも行けるようにコンクリート補装、介助の方がいれば直接みかんがとれる様になっています。

また、みかん農園の傍らには休憩所が設けられ、トイレが完備され、身障トイレも併設されています。

第十三回全国障害者スポーツ大会

デイケア利用者

坂田 昭美

十月十二日(土)～十四日(月)に開催された、東日本大震災復興支援スポーツ祭東京二〇一三第十三回全国障害者スポーツ大会に熊本県選手団として参加して来ました。

東京に多摩に島々に羽ばたけアスリート」をスロ

ーガンに、総勢三千三百八人の選手が十三競技で日頃の練習の成果を競い合いました。

私は、ソフトボール投げとジャベリッグスローに出場。両種目で金メダルを獲得し、ソフトボール投げでは、10月16日の大会新記録を出すことができました。

たくさん仲間や会場に集う多くの方々との交流を深めながら、スポーツの力」の素晴らしさを実感した心に残る大会でした。



十一月二十二日県庁に於結果報告会

編集後記

愛隣館は、職員百人を超す施設です。大勢の職員に支えられている事に、改めて頼もしい気持ちになります。

私たちも、再度、気を引き締めて皆様に「見やすい・読みやすい」をスローガンに季刊紙作成に励んで参ります。

来年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

キャリアビジョン スタッフ一同